



りんご箱

ケアセンター成瀬住民の会だより 第113号

2017年（平成29年）5月 発行：住民の会広報委員会 電話：729-0617 発行責任者 塚本誠子

新年度のスタートに当たって

ケアセンター成瀬 住民の会会長

佐藤 康夫

最近の政治家の発言や行動には目に余るものがあります。

東日本大震災で被災し原発事故に伴う自主避難者の帰還を「自己責任」とし、質問した記者に暴言を浴びせた復興相や、文化学芸員を「病氣」呼ばわりした創生相・等々枚挙にいとまがありません。

関係者に追及されると発言を撤回し陳謝する事の繰り返しです。

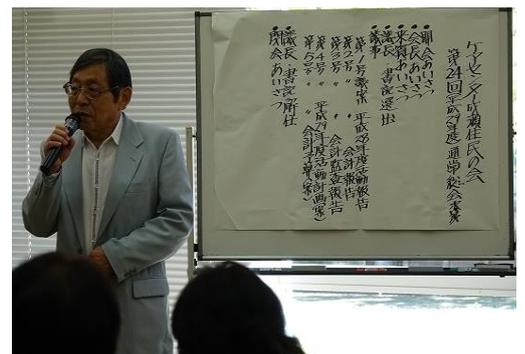
一度発した言葉や行動に關してうわべだけの陳謝では我々を納得させることはできません。相手の事を充分配慮した発言や行動をとり、これ以上国民の信頼を失うことのないように真剣に本業に精を出してもらいたいものです。

私は4月23日の住民の会通常総会で2期目の任に就かせていただくこととなりました。

28年度は会員の皆様のご協力とご理解で、計画した諸活動を乗り切ることができました。

特に3年前に会長に就かせていただいた時より機会あるごとに訴えてまいりました当会の目的を達成するための会員の拡大ですが、お蔭様で毎年20数名の新規会員を迎えることができました。ケアセンター成瀬を拠点に活動されている諸団体や会員、地域のボランティア団体の皆様に感謝を申し上げます。

総会においてご承認いただきました活動目標にもありますように、今年度の住民の会の活動計画のひとつは、会員同士の「見守りネットワーク」やケアセンター成瀬を支援するボランティア活動への参加希望等に関してお尋ねする「活動ア



ンケート」の実施です。

日常生活の中で「誰かにちよつと手伝ってもらいたい」と思う人がいたり、逆に「短時間なら困っている人のお手伝いがしたい」と思う人がいた場合、会員の方々の見守り合い、助け合いが大切ではないかと思われるからです。

当地域で20年以上ボランティア活動を継続してきた住民の会と、長年高齢者を中心とした活動を展開されている各団体、自治会の方々と協力し地域の支え合い活動を続けていくために、今後の住民の会の活動指針として活用させていただいた「活動アンケート」への

ご協力をよろしくお願いいたします。

また、今年度の行事計画としては、昨年好評だった「日帰りバス旅行」「ケアセンター成瀬まつり」「新春交流会」等を計画しております。

今年度も会員の皆様とボランティア活動を通じて会員相互の親睦と助け合いの精神で諸活動を推進してまいりますので、ご助力とご支援をよろしくお願いいたします。

活動アンケートのお願い

「りんご箱」112号でもお知らせしましたように、このたび「住民の会活動アンケート」を実施することになりました。

アンケート用紙記入後は住民の会事務局へお持ちいただくか、同時配布の封筒に入れて郵送して下さるようお願いいたします。（切手は不要です）ご協力をよろしくお願いいたします。

第24回(平成29年度)住民の会 通常総会報告

4月23日(日)、平成29年度住民の会通常総会がケアセンター成瀬デイサービスフロアで開催された。出席者は34名。司会は安達聡子さん。

はじめに、佐藤康夫会長。「創立24年になるが、長続きしている理由

としては、事務局が連絡事項や種々相談事等の受付や取り次ぎがしつかりできてきていることとです。すでに高齢化している地域に必要な場所となるような会の役割をしつかり考え頑張っている。協力をお願いしませう」と挨拶した。

次に来賓、西嶋公子創和会理事長。「日頃の活動に感謝します。グループホームが新たに発足、第二の拠点になる予定です、皆さんのご協力をお願い

いたします」と挨拶があった。続いてNPOアップルサービス、原厚平理事長。「住民の会とは何かと改めて考える。変化する社会の中で20数年の重みを感じる。頑張っている三者の中でも住民の会は心のよりどころになり、感謝している。今後とも協力していきたい」と挨拶した。

を購入

③会員が参加できる行事として「なるせだいまつり」の夜店、「どんど焼き」の甘酒の提供。小田原城への「バス旅行」等を行った

④情報の発信源として「住民の会のホームページ」の活用。毎週更新している

⑤地域住民の活動と憩いの場として「花みずき」の充実と運営に協力

⑥各委員会、ボランティアグループの紹介
第1号議案、拍手で承認

第1号議案

平成28年度活動報告

小竹金次事務局長報告

①会員の拡大

今年度入会者23名

②協力団体への支援活動の推進

ボランティア活動、特にバザー等の収益金は37万円を超え、「ケアセンター用テント、ビデオカメラ・プロジェクト」

ここでボランティア券

について質問があった。回答として、小竹事務局長より、概ね1回の活動に対して150円の飲み物券(0.5〜1枚)を各グループに配布、年間約700枚を提供との説明があった

④情報の発信源として「住民の会のホームページ」の活用。毎週更新している

⑤地域住民の活動と憩いの場として「花みずき」の充実と運営に協力

⑥各委員会、ボランティアグループの紹介
第1号議案、拍手で承認

第2号議案

平成28年度会計報告

田中邦夫会計が報告。拍手で承認

第3号議案

平成28年度会計監査報告

監事 小林一朋・野中節子
両氏から監査の結果、適正に処理された旨、報告があった。拍手、承認

閉会となった。(中山 記)

ここでボランティア券

について質問があった。回答として、小竹事務局長より、概ね1回の活動に対して150円の飲み物券(0.5〜1枚)を各グループに配布、年間約700枚を提供との説明があった

④情報の発信源として「住民の会のホームページ」の活用。毎週更新している

⑤地域住民の活動と憩いの場として「花みずき」の充実と運営に協力

第4号議案

平成29年度活動報告(案)

安達聡子副会長報告
町田の高齢化率は26%。成瀬台特に3丁目は45%で危機感がある。共に生き支えあって、自治会、地域の活動グループ等一緒に頑張って見守り活動を強化努力していきたい。会での見守り、ホットコール等、更に積極的に進めたい

第5号議案

平成29年度会計予算(案)

田中邦夫会計説明
第4号議案、第5号議案共に質疑応答なく拍手多数で承認され全ての議事が終了。議長・書記が解任され、

平成29年度役員紹介

会長	佐藤 康夫
副会長	島峯 紀子
事務局長	安達 聡子
会計	小竹 金次
監事	田中 邦夫
〃	西山 貴美子
〃	小林 一朋
〃	野中 節子
(社福)創和会理事長	西嶋 公子
NPOアップルサービス	原 厚平
地域ケア委員会	高綱 美智子
研修委員会	遠藤 仙子
広報委員会	塚本 誠子
行事委員会	田中 邦夫
ボランティアグループ会議	永井 まち
ホームページ委員会	田中 邦夫



私の家は現在1階を認知症の方向けのデイサービスに無償でお貸ししています。スーパー三和に向かう道路沿い、駄菓子屋さんの看板のある家、ご存知ですか？

陽だまりカフェのこと

安達 聡子

その場所をまた借りして毎月第3日曜日に、地域の方や認知症の方、ご家族などが気軽に立ち寄り交流できる「陽だまりカフェ」を開催して1年になります。

午前中は旬の素材を使った手作り料理を参加者と協力して作り皆で一緒に食べています。午後は様々な講習会や歌おう会などのイベントを行っています。



今回「きずなづくり大賞」の作文募集に「陽だまりカフェ」の取り組みを応募したところ都知事賞をいただくことができました。住民の会をはじめとしてこのような取り組みをしてい



掲載予定の東京都知事賞に選ばれた安達聡子さんの文章は、著作権の関係で掲載できませんでした。

お読みになりたい方は下記ホームページを検索してご覧ください。

「東京都社会福祉協議会
きずなづくり大賞 2016」



る団体は地域にも数多くある中、賞をいただくのは申し訳ない気持ちですが、今後も地域のきずなを作る活動を増やしていきたいように頑張っていきたいと思えます。

後期ボランティア研修会・懇親会の報告

ぶどうの会 代表 永尾 陽子

去る3月15日(水)今年度2回目のぶどうの会「研修会兼懇談会」が開かれた。メンバー47名のうち参加者は11名。現場からはボランティア担当の岡安職員(特養)と笠原職員(デイ)、それにくもん担当の久保田職員(デイ)が出席、実り多い会となった。

*ボラが手出ししてはいけないことはしっかり守る。

*シーツ交換の際の服装について考えたかどうか。

【「デイ給茶グループ」

*始業の時間は9時からとする。但し個々の事情も考慮する。

*手の空いた職員がいるように見受けられるが、ボラ

が関わる意義は大きい。

【「デイ趣味活動」

*午後の大事なアクティビティである趣味活動への職員の関心と関わり方を考えてほしい。

*俳句の時のゲーム等の声の大きさに配慮を。

*くもん学習療法は相手の方への気づきが大事であり、介護の指針ともなる。気づいたことはかならずメモして伝える。

ボランティアの意見は現場職員に、職員からの意見はボランティアに伝え、よりよい協働関係を築いていきたい。

【「特養グループ」

*職員が忙しくてコミュニケーションが取りにくい面があるが、遠慮せずわからないことは何でも聞いてほしい。

懇談会は担当別に4つのグループに分かれて話し合い、次のようなことがまとめとして発表された。

ボラだけでなく全員にプリントを配り読んでもらいたい」という意見が出された。

グループは担当別に4つのグループに分かれて話し合い、次のようなことがまとめとして発表された。

【「特養グループ」

*職員が忙しくてコミュニケーションが取りにくい面があるが、遠慮せずわからないことは何でも聞いてほしい。

懇談会は担当別に4つのグループに分かれて話し合い、次のようなことがまとめとして発表された。

ボラだけでなく全員にプリントを配り読んでもらいたい」という意見が出された。

グループは担当別に4つのグループに分かれて話し合い、次のようなことがまとめとして発表された。

【「特養グループ」

*職員が忙しくてコミュニケーションが取りにくい面があるが、遠慮せずわからないことは何でも聞いてほしい。

懇談会は担当別に4つのグループに分かれて話し合い、次のようなことがまとめとして発表された。

ボラだけでなく全員にプリントを配り読んでもらいたい」という意見が出された。

グループは担当別に4つのグループに分かれて話し合い、次のようなことがまとめとして発表された。

施設見学の報告 研修委員会 稲葉妙子

高齡化が進み、我が身を案じる世代が増え続けているこの地域です。研修委員会は、昨年度活動の重点を施設見学におきました。まず近隣から見て行きたいと考え、5月にはデイサービス「B L G」と「アクティヴ」を見学しました。驚くほど活発な活動内容で、訪問した私達は元気をもらった気がしました。

6月に訪ねた特別養護老人ホーム「清風園」と隣接のサービス付き高齢者住宅「清風ヒルズ金井」は、木立の緑が映え建物内も素敵でした。ただ、有料施設はどこも同じなのか洗濯機使用時もある都度お金を払うとのことでした。7月、成瀬街道沿いの「正吉苑」を見学。建物内には健康器具がたくさん置かれておりスポーツクラブのようでした。ガラス越しには恩田川の散策路が見え、桜の季節に素晴らしい光景を手の届く距離で感じられるのは羨ましい限りです。10月には南町田に位置する「あおぞら」を見学しました。中庭には可愛い花々が咲き、建物は木の温もりを感じる洒落た造りです。



良く手入れされた「あおぞら」中庭

入居されている方々はとても元気で、年齢を聞いたかたは90歳とか。施設内では経営母体が同じという保育園児との交流も行われており、若さの要因かもと感じました。本年度も施設見学を予定しています。見学で得た知識や見分は今後の活動に生かしたいと思えます。

ダンケムジーク第59回コンサート 「春風にのせて、Let' アンサンブル」

3月5日(日)の午後、ケアセンター成瀬地下デイサービスフロアにてダンケムジーク第59回コンサートが行われました。

第一部には女性3人のグループ「アンサンブル・ラ・ミュージック」が登場。ピアノ、ヴァイオリン、フルートの明るく軽やかな響きと楽しいトークでウィーンの香りをたっぷり楽しませてくれました。ヨハン・シュトラウスやモーツァルト等のほか、映画「第三の男」のテーマ曲も大好評でした。



第二部はマンドリン、マンドラ、ギターの「アンサンブル・YU」の演奏。8人の息の合ったハーモニーで小椋佳、小林亜星などの懐かしい調べが続き、圧巻のビートルズメドレー25曲では会場が大いに盛り上がりました。

合同演奏の「川の流れるように」の後、恒例のみんなで歌いましょうのコーナーでは「高原列車は行く」を会場のお客様も一緒に歌い、春を先取りする心弾む午後となりました。

これからの催し物(予定)

- ・NPO アップルサービス 定期総会 5月21日(日)
- ・ダンケムジークの会 定期総会 6月24日(土)
- ・きらく会 6月16日(金) 30日(金)
- ・資源回収(毎月第4月曜日) 5/22, 6/26, 7/24
- ・なるせだいまつり 7月29日(土) 30日(日)

会費納入のお願い

平成29年度会費未納の方は
下記の方法で納入をお願いします

1 住民の会事務局窓口
(下記の時間帯に受付)

2 郵便振込
記号: 00120-7-725131

名義: ケアセンター成瀬住民の会

◎ ご一報くだされば集金に伺います

ケアセンター成瀬住民の会事務局

住所 町田市成瀬台3-24-1

電話・FAX 042-729-0617

ホームページ <http://ccnjk.com>

受付時間 月曜日～土曜日

10:00～16:30(日曜・祝日休み)

※「ゆりの木会館」側からお入り下さい

編集後記

今回3ページで紹介の安達聡子さん。「きずなつくり大賞」に応募し、見事、「東京都知事賞」を獲得されたとの記事を読ませて頂いた。

一階で同居していたお義父様が二年前に亡くなり、その部屋を改装して、軽い認知症の方が集まれるデイサービスを始めた。

文章を読んで感動したのは、何か新しいことを始めると、いろいろ問題が出るものだ。そこで彼女は、周囲の理解を得るために月一回の日曜日に、そこでオープンハウスのカフェを開き近所の方の自由参加に繋げた。これも彼女の熱意とご主人の協力があればこそ。

彼女が意図する「つながる」五段活用。「つながらない」「つながりません」「つながる」「つなれば」「つながらろう」は、我々の人間関係の基盤であり、祈りなのではないか。渡辺和子さんの著「置かれた場所で咲きなさい」にも、与えることの尊さが書かれている。(Y)

